

## 第14回定例岡山県教育委員会議事録

- 1 日 時 令和2年11月20日（金）  
開会14時45分 閉会15時40分
- 2 場 所 教育委員室
- 3 出席者
- |              |            |
|--------------|------------|
| 教育長          | 鍵本 芳明      |
| 委員（教育長職務代理者） | 田野 美佐      |
| 委員（教育長職務代理者） | 松田 欣也      |
| 委員           | 梶谷 俊介      |
| 委員           | 上地 玲子      |
| 委員           | 服部 俊也      |
| 教育次長         | 池永 亘       |
| 教育次長         | 高見 英樹      |
| 教育政策課        | 課長 大西 治郎   |
|              | 副課長 細川 誠   |
|              | 総括主幹 土井 隆史 |
| 義務教育課        | 課長 川上 慎治   |
- 4 傍聴の状況 0名
- 5 報告事項  
(1) 令和2年度岡山県学力・学習状況調査結果の概要について

## 6 議事の概要

### 開会

#### 非公開案件の採決

##### (教育長)

本日の議題の審議に入る前に、議題の公開の可否について決定したい。

委員から、議題を非公開とする発議はないか。

##### (委員全員)

(特になし)

##### (教育長)

特にないようなので、直ちに審議に入る。

#### 報告事項(1) 令和2年度岡山県学力・学習状況調査結果の概要について

##### ・義務教育課長から資料により一括説明

##### (委員)

5頁「5 今後の取組」について、「Web評価支援システム」の活用を促すとあるが、このシステムは全教科に対応しているのか。

##### (義務教育課長)

今回、調査を実施した科目、小学校の国語・算数、中学校の国語・数学・英語に対応している。

##### (委員)

2頁「3 学習状況調査の結果」の学習習慣・授業理解について、全国的に同様の傾向になっているのか。

##### (義務教育課長)

「学習習慣」については、岡山県独自の課題がある。全国学力・学習状況調査結果において、全国的には小学校6年生と中学校3年生を比べた際に、学習時間が増加する傾向にあるが、岡山県では小学校6年生の学習時間が全国的に高いレベルにあるにも関わらず、中学校3年生へ学年が上がるにつれて学習時間が減少する傾向になっており、改善が必要な状況である。今回の県学力・学習状況調査結果においても、中学2年生等に同様の傾向が見受けられるため、引き続き、県内優良実践の紹介等、「家庭学習のスタンダード」に基づいて、望ましい学習習慣の形成に向けた取組を進めてまいりたい。

##### (委員)

過去の結果を見ると、小学校5年の算数が全国の標準スコアより低くなっているが、改善に向けてどのような対応を行っているのか。

##### (義務教育課長)

算数では、割合に関する設問等で正答率が低くなっているため、授業改善に係る研究を進めるとともに、割合等に特化した特集を組み、各学校で取り組むべきポイントを紹介するなど、学力向上の推進に向けた対応をこれまでも行ってきた。徐々にだが成果も上がっており、引き続きこうした取組を進めてまいりたい。

**(教育長)**

各学校において、その時々課題に応じた対策を行えているかが大事であり、今年度から学校長には、学校の課題に対する改善プランの作成を求めており、そのプランの内容及び進捗状況についても、県教委幹部が学校訪問を行い確認し、必要なアドバイス等を行っている。学力向上の推進にあたっては、学校経営における学校長のリーダーシップ及び校内研修の充実が特に重要であると考えており、今後とも各学校の取組を支援してまいりたい。

**(委員)**

校内での研修も大事だが、良い授業を行っている教員の授業内容を学校や市町村を超えて発信する等の取組を考えてはどうか。

**(義務教育課長)**

現在、県内に授業改革推進リーダー・推進員を配置しており、昨年度までは各学校の教員への指導・助言を中心に行っていたが、今年度から訪問先の学校において、推進員が示範授業を実施し、授業改善に向けたポイントを実践的に伝える等の取組を進めている。

**(委員)**

「学習習慣」について、授業の中だけで改善することは難しい。児童生徒本人がその気になるかが1番重要であり、授業以外の取組も進めて欲しい。

**(義務教育課長)**

ご指摘のとおり、学習習慣及び学力の向上にあたっては、児童生徒本人の学習意欲を高めることが重要であり、今後は総合的な学習の時間等における活動と各教科の内容を関連付けて学ぶ等、学習意欲を高めるために様々な取組を進めてまいりたい。

**(委員全員)**

了 承

閉会